

平成23年度 事業計画

1. 基本方針

少子高齢化による人口減少社会が進行する中で、健康な高齢者や介護が必要な高齢者が増加しています。今日の高齢化社会の中で、高齢者自らがいきいきと働き、活動することによって社会参加や地域に貢献することが求められており、高齢社会の担い手であるシルバー人材センターの果たす役割は益々大きなものになっていくと思われまます。

しかしながら、国内の経済状況は、一部の消費の伸びがあるものの（家電製品・自動車）長引く景気の停滞から雇用不安も解消されず、依然として厳しい状況が続いています。さらには国のシルバー事業関連予算が行政刷新会議「事業仕分け」の評価結果を受けて削減されたことにより、シルバー人材センターを取り巻く環境は、さらに厳しいものとなりました。

一方、現行の公益法人制度が抜本的に見直され、当センターは平成24年3月までに新公益社団法人として移行申請を行い、認定を受けることとなります。

このことにより、社会的信用が得られる反面、従来以上に就業を通じて社会の為に力を発揮する活動にも積極的に取り組む姿勢が求められます。

今後もセンターの理念である「自主・自立、共働・共助」を基本に、「地域に親しまれ、信頼されるシルバー人材センターをめざす」をモットーとして誠実な就業に努めてまいります。

このような状況下ですが、会員、役員そして事務局職員が一丸となって、社会経済の変化に対応しながら、安定的な運営基盤の確立を図る一方、収支両面にわたる総合的な見直しにより、事業の刷新・強化に努めてまいります。

2. 事業実施計画

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

① 会員のための会報は、毎月1回の「ふれあい」と年2回の「特集号ふれあい」を発行（7月・3月）すると共に、毎月北広島市の広報（1日号・有料）に、シルバー人材センター専用のスペースの中で、これまで以上の普及啓発を図っていきます。

② 市内で開催される各種行事に参加をし、リーフレットやチラシ等を活用して、シルバー人材センターの普及啓発に努めます。

- ③ 役職員及び会員が一体となり、会社等への訪問活動などを実施し、就業機会の拡大に努めます。
- ④ 10月の「普及啓発促進月間」には、パネル展、街頭啓発や木工班との連携を図り展示即売会の開催など多様な広報活動に努めます。
- ⑤ 「一日奉仕デー」は、「地域に親しまれ、信頼されるシルバー人材センター」を目指すボランティア活動として大切な事業になっています。多くの会員協力のもと社会貢献活動にも努めます。
- ⑥ インターネットは、情報を共有できる機能として広く普及が進んでいることから、ホームページの掲載内容の充実に努めます。

(2) 安全就業対策の推進と健康管理

- ① シルバー事業の推進にあたって事故防止と安全確保は、最優先で取り組む課題です。安全就業に対する啓発強化を図るため「安全大会」の実施、安全標語等の募集を行い、安全意識の高揚に努めます。
- ② 安全推進委員において、安全パトロールを定期的に行い、事故を未然に防止するための安全意識の喚起や事故の未然防止に努めます。
- ③ 体調の維持管理は、事故の未然防止の第一歩です。健康管理に対する意識の高揚と定期的な健康診断の奨励に努めます。

(3) 会員の増強と知識・技能の向上

- ① 会員の高齢化そして団塊世代の大量退職者が生じているものの継続雇用の義務化、年金支給が段階的に延長になるなどの理由から、会員の増強は厳しい環境に置かれている。
会員の増強は、安定的な受注確保をするうえで必要不可欠ですので、会員の口コミでの勧誘、あるいはパンフレット配付や会報などにより啓蒙PRに努めます。
- ② 入会希望者に対して定期的に説明会を開催し、新会員の入会促進に努めます。
- ③ 会員が新たな知識・技能を見につけることは、就業機会の拡大に繋がることから各種講習会等を計画的に開催し、会員の資質向上に努めます。

(4) 組織の強化と事務局体制

- ① 地区班長会議や職群班との打合わせを密に行うとともに、地区懇談会を2月に開催したことにより参加者の拡大に繋がったため、今後は2月に開催することとし会員と役職員の意思疎通に努めます。
- ② 活発なセンターの組織・事業活動を推進するため、理事会や理事専門部会において研修会や他センターの活動を研修するなど活発化に努めます。

(5) 会員の福利厚生について

平成23年度以降、互助会活動に対する助成金は廃止にいたします。

(定款上の根拠が明らかでなく、公益法人に認められない構成員への利益配分に当たるため)

(6) 独自事業の推進について

就業機会の拡大を図るため、シルバー人材センターの独自事業として花苗づくり、腐葉土づくり、木工品づくりの3事業に取り組んでいますが、より収益の安定をめざしてふれあい祭りなどを通してPR並びに販売促進に努めます。

また、会員の提案や他センターの事例等を参考に新規事業に積極的に取り組みます。

- ① 花苗事業
- ② 腐葉土事業
- ③ 木工品事業

(7) 企画提案方式事業について

本年度が3カ年の最終年になりますが、昨年引き続き環境分野で、腐葉土づくり事業、古布回収リサイクル事業を、教育分野で、小学生腐葉土体験事業(目標3校)を実施し、新たな企画提案方式事業を北広島市と協議のうえ進めていきます。

(8) 財政基盤強化対策について

企業への働きかけではなく、個人宅などの受注拡大を目指したきめ細かな就業拡大のPRに努めるほか、賛助会員の勧誘を進め、就業との連動に努め、就業開拓や財政基盤の強化を図ります。

(9) 関係機関・団体との連携強化

当センターと関わりの深い、道シ連や北広島市等の関係機関・団体との連携を密にし、事業の円滑な推進に努めます。

3. 事業目標

平成23年度の主な事業目標は、次の通りとします。

- | | |
|----------|-----------|
| ① 会 員 数 | 580人 |
| ② 受注契約金額 | 197,000千円 |
| ③ 就 業 率 | 85%以上 |